

④ 押し成形セメント板 (ECP)	(8.5.2~8.5.4)(表8.5.1)(表8.5.2)				
	施工箇所	表面形状	厚さ(mm)	幅(mm)	工法
	・外壁パネ	※フタパネ	60	600(17)	・A種 ・B種
	・間仕切壁 パネ	※フタパネ ・デザインパネ ・タイルペースパネ			・B種 ・C種 ・無し ・有り( )
⑨ 防水工事	(9.2.2)(9.2.3)(表9.2.3)~(表9.2.8)				
	種別	施工箇所			
	・A1-2 ・A-2 ・D-2 ・BI-2				
	・A1-2 ・A-2 ・D-2 ・BI-2				
1 アスファルト防水	(9.2.2)(9.2.3)(表9.2.3)~(表9.2.8)				
	種別	施工箇所			
	・A1-2 ・A-2 ・D-2 ・BI-2				
	・A1-2 ・A-2 ・D-2 ・BI-2				
2 改質アスファルトシート防水	(9.3.2)(9.3.3)(表9.3.1)				
	種別	施工箇所			
	・AS-1 ・AS-2				
	・AS-1 ・AS-2				
③ 合成高分子系 ルフィングシート防水	(9.4.2)(9.4.3)(表9.4.1)				
	種別	厚さ	施工箇所	仕上塗料塗り	使用分類
	・S-F2	2.0mm	屋上	・シルバー ・カラー	・非歩行 ・軽歩行
	・S-F2	2.0mm	屋上	・シルバー ・カラー	・非歩行 ・軽歩行
4 塗膜防水	(9.5.2)(9.5.3)(表9.5.1)(表9.5.2)				
	種別	施工箇所			
	・X-1 ・X-2				
	・X-1 ・X-2				
⑤ シーリング	(9.6.2)(表9.6.1)				
	種別	施工箇所			
	・SF-2	屋上			
	・SF-2	屋上			
⑥ 防水の保証等	(9.6.2)(表9.6.1)				
	種別	施工箇所			
	・SF-2	屋上			
	・SF-2	屋上			
10 石工事	(10.2.1)(表10.2.1)(表10.2.2)				
	石の種類・表面仕上げ	石の種類・表面仕上げ			
	施工箇所	種類	産地・名称	厚さ(mm)	仕上げの種類
	・天然石張り	・天然石	・産地・名称	・厚さ(mm)	・仕上げの種類
2 テラス張り	(10.2.1)(表10.2.2)				
	種石の種類	種石の種類			
	・天然石	・天然石			
	・天然石	・天然石			
3 床及び階段の石張り	(10.6.2)(表10.1.5)				
	種石の種類	種石の種類			
	・天然石	・天然石			
	・天然石	・天然石			
① ① 陶磁器質タイル	(11.2.1)(表11.2.1)				
	施工場所・用途	形状寸法(mm)	耐凍害性	うわぐすり	役物
	・陶磁器質タイル	150×60	・あり ・なし	・施軸 ・無軸	・あり ・なし
	・陶磁器質タイル	150×60	・あり ・なし	・施軸 ・無軸	・あり ・なし

② 壁タイル張り工法	(11.3.3)(表11.3.2)			
	内装タイル	壁タイル接着剤張り・改良積上げ張り		
	・壁タイル	・壁タイル		
	・壁タイル	・壁タイル		
③ コンクリート素地 面の処理	(11.3.3)			
	※MCR工法又は目荒し工法(ポリマーセメントモルタル下地)			
	施工範囲	※図示		
	施工範囲	※図示		
4 陶磁器質タイル 型枠先付け工法	(11.2.2)(11.4.2)(表11.4.1)			
	適用タイル	種別	タイル型枠先付け面のせき板	
	・小口タイル	※タイルシート法	※標仕6.9.3[材料](b)(2)又は金属製	
	・二丁掛タイル	・目地樹工法	タイル先付け用パネル	
⑫ ① 木材の品質	(12.2.1)			
	※標仕12.2.1による			
	保存処理木材の適用箇所	※12.2.1(b)による		
	・市販品	・市販品		
② 樹種	(12.2.1)			
	※標仕12.2.3による			
	・標仕12.2.3によるほか、樹種のうち杉は「越後杉ブランド」を使用する			
	・代用樹種を適用しない箇所( )			
③ 集成材	(12.2.2)			
	品名	規格・品質	芯材の樹種	化粧単板の樹種
	・集成材	※一般材	※たも・ならし・おじ	・集成材
	・集成材	※一般材	※たも・ならし・おじ	・集成材
④ 接着剤	(12.2.6)			
	接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。			
	接着剤	※図示		
	接着剤	※図示		
⑤ 防腐・防蟻処理	(12.2.8)(12.2.9)			
	防腐処理 ※行う(適用範囲 ※標仕12.2.8(c)による・図示)			
	防蟻処理 ※行う(適用範囲 )			
	防腐・防蟻処理は、ホルムリジン等を含む有機リン系の表面処理用木材保存剤とし、種類及び品質等が確認できる資料を監督員に提出し承諾を受ける。			
⑬ ① 長尺金属板葺	(13.2.2)(13.2.3)(表13.2.1)			
	屋根葺形式	長尺金属板の種類		板厚(mm)
	・長尺金属板葺	※塗装溶融55%アクリル樹脂鉛合金めっき鋼板		※0.4
	・長尺金属板葺	※塗装溶融55%アクリル樹脂鉛合金めっき鋼板		※0.4
② 折板葺	(13.3.2)(13.3.3)(表13.2.1)			
	形式	※重ね形 ○はせ縫め形 ・かん合形		
	形状(mm)	山高( )山ピッチ( ) 板厚( )		
	材料	※塗装溶融55%アクリル樹脂鉛合金めっき鋼板 (室内 ガラス繊維不織布t:8張)		
④ と い	(13.5.4)			
	材種	※配管用鋼管 ○硬質塩化ビニル管(カー) (13.5.2)(表13.5.1)		
	鋼管製といの防露	※標仕13.5.4による		
	掃除口	○有り ・無し		
⑭ ① あと施工アンカー の引抜き耐力試験	(14.1.3)			
	※適用する。			
	種類	施工箇所		
	・アンカー	・アンカー		
② ステンレスの表面 仕上げ	(14.2.1)			
	種類	施工箇所		
	・ステンレス	・ステンレス		
	・ステンレス	・ステンレス		
③ アルミニウム及び アルミニウム合金 の表面処理	(14.2.2)(表14.2.1)			
	種別	色合い	施工箇所	
	・アルミニウム	無着色	エキスパンション金物、笠木、防水押さえ金物	
	・アルミニウム	無着色	エキスパンション金物、笠木、防水押さえ金物	
4 鉄鋼の亜鉛めっき	(14.2.3)(表14.2.2)			
	表面処理法	種別	施工箇所	
	・鉄鋼	・A種(板厚6.0mm以上)	・A種(板厚6.0mm以上)	
	・鉄鋼	・B種(板厚3.2mm以上)	・B種(板厚3.2mm以上)	

⑤ 軽量鉄骨天井下地	(14.4.3)(表14.4.2)			
	屋外の場合の形式及び寸法			
	※下記以外は、標仕14.4.3及び表14.4.2による			
	野縁受、吊りボルト、心材	施工箇所		
⑥ 金属成形板張り	(14.6.2)(表14.2.1)			
	形状	製法	材種	寸法(mm)厚さ(mm)表面処理色合い
	・スパンドレル形	・押し出し	※7A2ニッケル	・B-1種 無着色
	・パネ形	※プレス	・B-2種	・ブラック
⑦ 7A2ニッケル製笠木	(14.6.3)			
	伸縮調整継手	※設けない・設ける(施工箇所は図示)		
	オープン形式アルミニウム製笠木の種類	(14.7.2~3)(表14.2.1)(表14.7.1)		
	種類	呼称肉厚(mm)	表面処理及び色合い	固定間隔・方法
⑧ 手すり及び タラップ	(14.2.1)(14.8.2~3)(表14.2.2)			
	種類	材料の種類	表面処理	
	・手すり	※ステンレスSUS304	※HLL程度・鏡面程度	
	・タラップ	※ステンレスSUS304	※研磨なし	
⑬ ① 床コンクリートの 直均し仕上げ	(表6.2.4)(15.3.1)(15.3.2)			
	施工箇所	平たんさ(mm)	備考	
	・床コンクリート	1mmにつき10以下	塗料塗りの場合も含む	
	・床コンクリート	3mmにつき7以下	塗料塗りの場合も含む	
② 仕上げ塗材仕上げ	(15.5.2)(表15.5.1)			
	種類	呼び名	仕上げの形状等	
	・薄付け仕上げ塗材	・外装薄塗材E	○砂壁状・着色骨材砂壁状	
	・薄付け仕上げ塗材	・外装薄塗材E	○砂壁状・着色骨材砂壁状	
⑬ ② 複層仕上げ塗材	(15.5.2)(表15.5.1)			
	種類	呼び名	仕上げの形状等	
	・複層仕上げ塗材	・複層塗材CE	○ゆず肌・凸部処理 ※凹凸模様	
	・複層仕上げ塗材	・複層塗材CE	○ゆず肌・凸部処理 ※凹凸模様	
⑯ 1 見本の製作等	(16.1.4)			
	※特殊な建具の仮組等(建具番号 )			
	※適用する(適用部品及び適用位置は図示による)			
	※適用する(適用部品及び適用位置は図示による)			
⑯ 2 防犯建物部品	(16.1.6)			
	※適用する(適用部品及び適用位置は図示による)			
	外部に面する建具の性能値等	(16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)		
	種別	耐風圧性	気密性	水密性
⑯ 3 7A2ニッケル製建具 を含む	(16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)			
	種別	耐風圧性	気密性	水密性
	・A種	S-4	※A-3	※W-4
	・B種	S-5	・	・
4 網戸	(16.2.3)			
	網の種類	※合成樹脂製・ガラス繊維入り合成樹脂製・ステンレスSUS316製		
	形式	※外部可動式・固定式・図示		
	形式	※外部可動式・固定式・図示		
5 鋼製建具 (標準型鋼製建具 を含む)	(16.3.2)(16.3.6)(表16.3.1)			
	簡易気密型ドアの性能の適用	(16.3.2)(16.3.6)(表16.3.1)		
	※適用する(適用箇所は建具表による)	・適用しない		
	外部に面する建具の耐風圧性	(16.3.2)(表16.2.1)		
⑯ ガラス留め材	(16.13.2)(表9.6.1)			
	ガラス留め材	(16.13.2)(表9.6.1)		
	建具の種類	材種		
	・アルミニウム製	○シーリング材 ○シールド材 ○スクリーン材		

⑯ 6 鋼製軽量建具 (標準型鋼製軽量 建具を含む)	(16.4.2)(16.4.6)(表16.3.1)			
	簡易気密型ドアの性能の適用	(16.4.2)(16.4.6)(表16.3.1)		
	※適用する(適用箇所は建具表による)	・適用する		
	外部に面する建具の耐風圧性	(16.5.2)(表16.2.1)		
⑯ 7 ステンレス製建具	(16.5.2)(表16.3.1)			
	簡易気密型ドアの性能の適用	(16.5.2)(表16.3.1)		
	※適用する(適用箇所は建具表による)	・適用する		
	外部に面する建具の耐風圧性	(16.5.2)(表16.2.1)		
⑯ 8 木製建具	(16.6.2)(表16.6.3)(表16.6.9)			
	かまち戸の樹種	かまち(スプルース集成材) 鏡板(スプルース集成材)		
	ふすまの上張り	※新島の子又はビニ紙程度		
	ふすまの縁の仕上げ	・塗り縁・生地縁		
⑯ 9 建具用金物	(16.7.4)			
	マスターキー	※製作する(本) ○製作しない		
	鍵札数量	○錠前1組に2枚とする ○錠前1組に 枚とする		
	錠前数量	※既存マスターに合わせる(校舎各)		
10 自動ドア開閉装置	(16.8.2)(16.8.3)(表16.8.3)			
	開閉方法	センサーの種類		
	※スイングドア	・電子マットスイッチ		
	・スイングドア	・電子マットスイッチ		
11 自閉式上吊り 引戸装置	(16.9.1)			
	※適用する(適用建具及び適用位置は図示による)			
	凍結防止措置	※行わない・行う( )		
	凍結防止措置	※行わない・行う( )		
12 重量シャッター	(16.10.2)(表16.10.1)(表16.10.2)			
	外部に面するシャッターの耐風圧強度	( ) N/m <sup>2</sup>		
	閉鎖機能	※上部電動式(手動併用)・上部手動式		
	危険防止装置	※障害物感知装置(自動閉鎖型)		
13 軽量シャッター	(16.11.2)(表16.11.2)(表16.11.3)(表16.11.4)(表16.11.2)			
	開閉形式	※手動式・上部電動式(手動併用)		
	外部に面するシャッターの耐風圧強度	( ) N/m <sup>2</sup>		
	スラット	厚さ(mm) ・0.5 ・0.6 ・0.8 ・1.0		
14 オーバーヘッドドア	(16.12.2)(16.12.3)			
	セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレール
	※スチールタイプ	※バラス式	・スラット形	・溶融亜鉛メッキ鋼板
	・アルミニウムタイプ	・チェーン式	・ローレット形	※ステンレス鋼板(SUS304)
⑯ 13 ガラス	(16.13.2)			
	耐風圧性能による区分	5.0 ・ 7.5 ・ 10.0 ・ 12.5		
	下記以外は、建具表による	(16.13.2)		
	強化ガラス	特性による種類 ※II-1類		
⑯ 16 ガラス留め材	(16.13.2)(表9.6.1)			
	材料板ガラスによる種類	特性による種類		
	・学校用強化ガラス	・学校用強化ガラス		
	・型板ガラス	・型板ガラス		
⑯ 17 ガラス留め材	(16.13.2)(表9.6.1)			
	材料板ガラスによる種類	色調		
	・熱線吸収フロートガラス	・ブルー・グレー・ブロンズ・グリーン		
	・熱線吸収網入り磨き板ガラス	・ブルー・グレー・ブロンズ・グリーン		
⑯ 18 ガラス留め材	(16.13.2)(表9.6.1)			
	材料板ガラスによる種類	色調		
	・熱線吸収フロートガラス	・ブルー・グレー・ブロンズ・グリーン		
	・熱線吸収網入り磨き板ガラス	・ブルー・グレー・ブロンズ・グリーン		
⑯ 19 ガラス留め材	(16.13.2)(表9.6.1)			
	材料板ガラスによる種類	色調		
	・熱線吸収フロートガラス	・ブルー・グレー・ブロンズ・グリーン		
	・熱線吸収網入り磨き板ガラス	・ブルー・グレー・ブロンズ・グリーン		